

令和5年度 ACTyレベルⅠ～Ⅴ集合研修計画

令和5年4月5日 現在

	担当	教育のねらい・目標	研修テーマ	目的	目標	レポートテーマ	研修予定
レベルⅠ		組織の一員として職場に適応し、指導の下で安全な看護を提供するために必要な基本的知識・技術を習得する	新採用者オリエンテーション	1) 国立病院機構職員の役割と組織を知り、職員としての心構えに繋げる 2) 演習を通して基礎看護技術を学び、実践に活かす	1. 国立病院機構及び当院について基礎的な内容を理解する 2. 講義や演習を通して、看護師として必要な知識・技術を学ぶ	その人らしさを支える看護とは（看護観）	採用時
			スキルアップ①	演習を通して基礎看護技術を学び、実践に活かす	1. 手順に沿った基本的技術を学ぶ 2. 演習にて各種技術を安全に実施できる		4月21日
			夜勤前	夜勤の心構えと夜間の看護について知識を持ち、OJT(オリエンテーション夜勤)に繋げる	1. 夜勤に向けての心構えを持つ 2. 患者の24時間の生活をイメージして、夜間の看護を知る		5月12日
			スキルアップ②	演習を通して基礎看護技術を学び、実践に活かす	1. 手順に沿った基本的技術を学ぶ 2. 演習にて各種技術を安全に実施できる		5月26日
			リフレッシュ研修	同期入職者と仲間作りをすすめ、心身をリフレッシュする	1. 同期入職者と交流する 2. 心身をリフレッシュする		6月2日
			フィジカルアセスメント	基本的なフィジカルアセスメントが分かり、看護の必要性の判断や、実践したケアの評価に活かす	1. フィジカルアセスメントの意義・目的を理解する 2. フィジカルイグザミネーションの基本技術(視診・触診・打診・聴診)がわかる		7月7日
			スキルアップ③	演習を通して基礎看護技術を学び、実践に活かす	1. 講義・演習の受講により各種技術を安全に実施できる 2. 特定行為ケア看護師による呼吸ケア知識の提供を受け、正しく理解する事ができる		9月26日
			安全な看護の提供と優先順位	複数の患者に対して安全な看護を提供するために必要な能力を養う	1. 安全に配慮した優先順位の判断について理解する 2. 必要に応じた報告・連絡・相談が分かる		10月13日
			看護倫理	専門職業人としての使命と心構えを持ち、多様な価値観・信条や生活背景をもつ人を尊重した行動をとる	1. 看護者の倫理綱領を理解する 2. 専門職業人として、倫理的使命と心構えが分かる		11月10日
			看護実践の振り返り発表	心に残った看護場面を振り返り、看護について考えを深める	1. 心に残った看護を振り返り、自分の言葉で表現する 2. 他者の振り返りを聞き、自己の学びを深める		2月5日
院内留学 (希望者対象)	自部署では経験することが難しい基礎看護技術を体験し、知識を深める	採用1年以内に習得が望ましい看護技術を体験または実践できる	10～2月				
レベルⅡ		根拠に基づいた看護実践(看護過程の展開)を通して、自己の看護観を高める	ケーススタディに必要な知識を学ぶ①	ケーススタディに取り組むために必要な考え方を学び、看護実践の意見交換を通してケーススタディに取り組むきっかけをつかむ	1. ケーススタディの目的を理解できる 2. ケーススタディを作成するためのステップが理解できる 3. ケーススタディに取り組むきっかけをつかむ	エビデンスに基づいた看護とは	6月5日
			ケーススタディに必要な知識を学ぶ②	根拠のある看護に必要な要素を理解し、看護過程の展開に活かす	1. ケーススタディを進めるにあたって必要なスキルである文献検索を行うことができる 2. 文献検索に必要な情報を得ることができ、根拠ある看護実践に繋げることができる		7月28日
			ケーススタディに必要な知識を学ぶ③	ケーススタディをまとめ、発表するための基本的知識を得る事ができる	1. ケーススタディの書き方を学習し、ケーススタディをまとめるための知識を得る事ができる 2. ケーススタディ発表に向け、パワーポイントの作成・口頭発表へつなげる		10月23日
			ケーススタディ発表会	ケーススタディの発表を通して自己の看護を深め、看護実践の質向上に繋げる	1. ケーススタディを通して自己の看護を表現する 2. ケーススタディの発表を通して、学びを共有する		1月22日
レベルⅢ		看護チームの一員として役割を発揮するために必要な知識を習得し、看護実践者としての能力を高める	リーダーシップ	リーダーシップとは何かを知り、看護チームの一員としての役割の認識・目標設定の必要性が理解できる	1. リーダーシップについて知ることができ、自己の役割遂行のための目標設定の必要性が理解できる 2. 目標達成に向けた計画の必要性を理解する	自部署の看護役割遂行を高める自己の	5月22日
			役割遂行	自己の役割を遂行するためのプロセスを振り返り、目標達成に向かうためのリーダーシップについて理解する	1. 自己の役割における目標達成に向かうリーダーシップのプロセスを振り返る 2. 役割遂行におけるリーダーシップについて理解する		9月1日
			協働する力	看護チームの一員として、関係するメンバーや他職種との連携の必要性について理解する	1. 目標達成に向けて関係するメンバーと検討する方略を理解する 2. 他職種連携の必要性を理解する		11月24日
			レポート	自己の役割を発揮した看護場面を振り返り、自己の学びを深める	自己の役割を発揮した看護場面を表現する		1月中
レベルⅣ		看護チームにおけるリーダー役割を理解し、後輩の学習を支援するために必要なスキルの習得を行い、組織における役割遂行に寄与する	リーダーの役割	看護チームにおけるリーダー役割を理解し、コーチングの知識を持ってスタッフや後輩の力を引き出すために必要なコミュニケーション能力を高める	1. 看護チームにおけるリーダー役割を理解する 2. コーチングについて知り、コーチングを体感する	意思決定を支える看護とは	6月23日
			意思決定支援	意思決定プロセスを理解し、関係者と共に支援する必要性を理解する	1. 意思決定プロセスを理解し、適切な看護ケアに繋げる 2. 意思決定プロセスの促進のために、適切なリソースを用いて支援する方法を理解する		9月22日
			リフレクション	看護実践の経験のリフレクションを通して、経験の意味や価値を再認識し、経験をより質の高い看護実践や自己成長に生かす	1. リフレクションを知る 2. 看護実践(リーダーの役割及び後輩支援)のリフレクションをする		12月11日
			レポート	自己の看護実践での経験をリフレクションし、経験をより質の高い看護実践や自己成長に生かす	看護実践での経験をリフレクションし表現する		1月中
レベルⅤ		専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、研究的に取り組む	問題解決行動①		1. 目標達成のための問題への取り組みが必要であることを理解できる 2. 自部署の問題解決に取り組むための方策を理解する	を自部署の上層の者の取捨選択の組み合わせたサメのビス	6月29日
			問題解決行動②	1) 自部署の問題を理解し、目標達成のために具体的な解決策を図り行動できる 2) 看護実践者としての役割モデルになり、指導・研究的能力を有し、自部署でリーダーシップが取れる	目標達成のために、問題を解決するための行動の評価方法を理解する事ができる		10月2日
			レポート		自部署の看護サービスを向上させるための取り組み内容を表現できる		1月中